

飲んで、飾って、風情を感じて 9月9日の「重陽の節句」は菊を楽しもう



「重陽の節句」は別名“菊の節句”と呼ばれ、菊を楽しむ日。

9月9日の「重陽の節句」は五節句の一つ。平安時代の初めに中国から伝わったとされており、旧暦では菊の花が咲く季節であることから『菊の節句』と呼ばれています。今年の秋は菊の花を飾ったり、菊の花びらを浮かべた菊酒を飲んで不老長寿を願いましょう。

■今年の作柄（8月28日現在）

今年は長雨による曇天が続き、高温で生育が少し遅れていますが、品質・収量ともに例年並み。
販売需要が高まる8月上旬から9月上旬にかけて出荷最盛期を迎えており、ピーク時には1日2～3万本を選花しています。



▲生産者が持ち込んだ輪菊を一本ずつ選別しています
「ばら受け選花」

■取材対応日■

【日時】9月7日（月）13時30分集合

【集合】JA西三河あぐりセンター池田
（西尾市一色町池田東八反15）

※集合後、収穫を行っている農家のハウス（一色町）へご案内します。

※取材を希望される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡をお願いします。



▲採花1週間前にはハウスを巡回
品質チェックをしています

【生産者部会情報】

名称：ロイヤルマム（西三河南部菊生産組合）

組合員数：10人 耕作面積：約6.6畝 収穫期：周年栽培 出荷実績：約490万本（2018年度）

品種：5月～9月下旬 夏菊「精の一世」 / 10月～4月 冬菊「神馬」 ※主に葬祭業者向けのため、ともに白い輪菊

流通先：東海・関東・東北方面



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形怜美

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関に発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。